

平成 18 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「功労賞」

社団法人 認知症の人と家族の会（代表理事：高見 国生）

1980（昭和 55）年 1 月 20 日設立

【授賞理由】

認知症に対する社会的な理解や対策がない時代から「ぼけても安心して暮らせる社会」の実現を目指して取り組んできた社団法人 認知症の人と家族の会の地道な努力は、認知症の人及びその家族の福祉の向上に多大なる寄与を果たしただけでなく、社会に対し認知症の理解を啓発した功績は枚挙にいとまがないものである。その功績に対し、本賞を授与するものである。

【事業活動等】

- ・ つどい（家族同士の助け合い、励ましあい、情報交換など）の開催
- ・ 認知症に関する正しい知識の普及、およびその理解の推進を図るための講演会や研修会の開催
- ・ 認知症の人とその家族に対する相談及び指導等の支援
- ・ 認知症に関する調査及び研究
- ・ 制度の改善を求めている提案と要望
- ・ 機関誌などの出版物の刊行、ほか

【概 要】

社団法人 認知症の人と家族の会は、認知症に対する社会的な対策や制度が一切なく、認知症の人の対応に疲労困憊していた家族や認知症の問題に関心を持つ人々によって、1980 年に京都で結成され、現在では全国 41 都道府県に支部を持つ民間団体である。結成以来、家族同士が交流し、励ましあうとともに「ぼけても安心して暮らせる社会」をめざして、全国的に活動をすすめてきた。国内の啓発活動とともに国際交流もすすめて、1992 年に国際アルツハイマー病協会（ADI）に加盟し、世界アルツハイマーデーの世界的な啓発活動に加盟国として参画、毎年全国的な取り組みを行っている。1994 年に厚生省の社団法人許可。「認知症」に関する正しい知識の普及及びその理解の推進、認知症の人とその家族に対する相談及び指導、認知症に関する調査及び研究などを行うことにより、認知症の人及びその家族の福祉の向上に寄与することを目的として活動を展開している。2006 年 6 月の総会で、26 年間の歴史をもつ「呆け老人をかかえる家族の会」から「認知症の人と家族の会」に名称変更を行った。

【褒章等】

1997 年 11 月	産経市民の社会福祉賞 受賞
1999 年 5 月	ヒューマンかざぐるま賞 受賞
1999 年 10 月	保健文化賞 受賞
2000 年 1 月	朝日社会福祉賞 受賞